

みんなで考える「温暖化からひょうごを守る適応策」グループワーク

“温暖化の影響についてみんなで考えよう！”の進め方

① 身の回りで感じている温暖化の影響について考えてみよう！

私たちの生活にも様々な影響がみられます。

昔と比べて、皆さんの周りではどんな変化がありますか？

セミの鳴く時期が
いつもと違う気がする…

デング熱など、蚊
に関する病気が他
人ごとではないと
思える…

熱中症に関する
ニュースをよく
見聞きする…

豪雨や渇水な
ど、異常気象
が増えた気がする…



② 将来の温暖化の影響についても考えてみよう！

私たちの生活がどんなふうになるかを想像してみましょう。

今より夏の暑さが厳しくなったら？

今より豪雨が頻繁になったら？

③ 将来の最も心配となる温暖化の影響に対してどんな「適応策」があるか考えてみよう！

地域によって、また、主体によって、適応する方法は様々です。

住んでいる環境に合わせてそれぞれの主体ができる適応策は何か考えてみましょう。



出典：環境省「気候変動適応情報プラットフォーム」ウェブサイト

① ウォーミングアップ(5分間)

◆グループ内で簡単な自己紹介

(住んでいる地域のこと、今一番興味のあること等)

② 付箋に書き出し(5分間)

◆ふだん感じている温暖化の影響事例を分野毎に色分けして付箋に記載

黄色「農作物・水産物」

水色「自然災害」

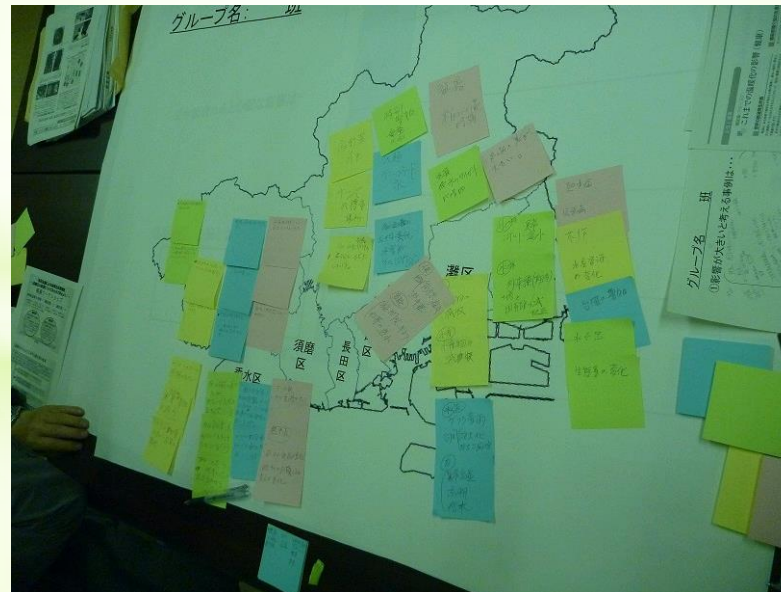
緑色「自然・水資源」

桃色「健康・観光・生活」

➡書けた人から模造紙(白地図)上の該当地域(居住地域)に付箋を貼る

③ グループ討議(A) (20分間)

- ◆付箋に書かれた影響事例をグループの中で発表し合う
- ◆大きく現れている影響事例について話し合う
- ➡ **最も大きく現れていると思う影響事例を1つ選択**



④ 付箋に書き出し(5分間)

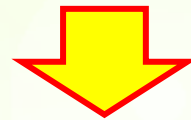
- ◆まだ感じていないが、将来現れると心配となる温暖化の影響を分野毎に色分けして付箋に記載
黄色「農作物・水産物」 水色「自然災害」
緑色「自然・水資源」 桃色「健康・観光・生活」
- ➡書けた人から模造紙上の将来心配となる事例の欄に付箋を貼る

⑤ グループ討議(B) (20分間)

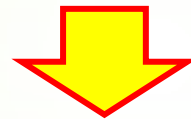
- ◆付箋に書かれた影響事例をグループの中で発表し合う
- ◆最も心配となる影響事例について話し合う
- ➡最も心配となる影響事例を1つ選択

⑥ 発表（1グループ2分間）

グループ討議(A)及び(B)の討議内容について発表



各グループで次に話し合う適応策のテーマについて
AまたはBから選択(司会者が選択)



～コーヒースタイル(10分間)～
テーマの興味により別グループへの移動もあり

⑦ グループ討議(C) (30分間)

- ◆ AまたはBから選択した影響事例について、その影響に備えるためにできる適応策について主体別に話し合う

〔個人でできること・地域でできること・事業者がすべきこと・県や市町がとるべき対策〕

⑧ まとめ (10分間)

グループ討議(C)の討議内容を模造紙にまとめる

⑨ 発表 (1グループ3分間)

模造紙にまとめた内容を発表